

はじめに

院長 王丸 道夫



平素より当院の地域医療連携にご協力を賜り、『こころ』より感謝申し上げます。

昨年 2020 年年初に発生した新型コロナウイルス感染症ですが、1 年半近くたった現在（2021 年 8 月）も日本各地で感染拡大が続いております。感染拡大防止のためには人と接する機会を減らすことが一番とされていることもあり、寂しいことですが、この一年間、人と接する機会が大きく減少してしまいました。そういった時だからこそ、常に自分の中で大事にしている『思いやり』、『相手に寄り添うこと』、『相手の立場に立って考えること』、『感謝を忘れないこと』、『「ありがとう」など感謝の気持ちを口に出し、相手に伝えること』、『人の痛みを知ること』などを更に心がける様にしております。

そういった厳しい状況ではありますが、当院は地域の皆様が安心して過ごしていただけるように、引続き当院の理念である『思いやり医療』『トータルケア』『チーム医療』の三本柱をもとに、職員一同、皆様からの更なる信頼を得ることが出来るよう、すべての人の『こころ』の健康の維持・増進に働きかけられる病院をめざして参りたいと思います。

今後、地域で患者数の増加が予想される認知症については、2011 年に熊本県地域拠点型認知症疾患医療センターを設置し、早期診断と精神症状の治療、地域の総合病院や診療所との連携による身体合併症のマネジメント、地域包括支援センターや介護施設との連携による認知症ネットワークの形成に努めております。また 2013 年には荒尾市から認知症初期集中支援チーム設置促進事業を受託し、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を目指しています。今後も引続き、行政機関、地域の医療介護福祉関係者等との連携強化に努めて参ります。

今年も当院の歩みを皆様に幅広く知っていただく機会とするために、年報を発刊することとなりました。一年、一年を振り返りながら、地域における将来の医療提供のあり方を模索していきたいと考えております。

今後とも、地域の医療・保健・福祉が一体となり、病院理念を頭に置き、奉仕の精神を忘れず、自己研鑽をはかりながら、全職員一丸となって患者さまやそのご家族のため、更には地域のために努力していく所存ですので、引続きご支援、ご指導宜しくお願い致します。





フォトコンテスト入賞作品
「 息吹抄 」 Souki

I. 病院概要

病院理念

1. 思いやり医療

常に思いやりのこころを忘れず、患者様中心の医療を行います。

2. トータルケア

地域・家庭・病院が一体となって、総合的で一貫したケアを行います。

3. チーム医療

医療と保健・福祉が連携して、チーム医療を行います。

基本方針

私たちは安全で信頼される医療を根本に、上記の3つの理念を柱として、人にやさしい病院づくりと、精神科医療サービスを提供する機関として、地域社会に開かれた病院づくりを目指しています。



I

病院概要

名 称	医療法人 洗心会 荒尾こころの郷病院
所在地	〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾 1992 番地
理事長	熊本 孝司
院 長	王丸 道夫
診療科目	精神科・心療内科・内科・歯科
診察時間	診療時間 9:00~12:30 13:30~17:00 受付時間 8:30~12:00 13:00~16:00 ※新規の受診に際しましては予約制となっております
休診日	土・日、祝日 正月（12/30~1/3）

荒尾こころの郷病院 病床数 272 床

看護等基準

- ・ 精神病棟入院基本料 15:1
看護補助加算 2 50:1
看護配置加算（看護師 70%以上配置）
重度認知症加算
→[南 1 病棟 60 床 ・ 5 病棟 54 床]
- ・ 精神療養病棟入院料
退院調整加算
重症者加算 1
→[南 2 病棟 56 床]
- ・ 認知症治療病棟入院料 1（認知症治療病棟 1 に個室 12 床あり）
退院調整加算
認知症夜間対応加算
→[西 1 病棟 52 床 ・ 西 2 病棟 50 床]
- ・ 救急医療管理加算
- ・ 医療保護入院等診断料
- ・ 医療安全対策加算 1（医療安全管理者専従配置）
- ・ 医療安全対策地域連携加算 1
- ・ 患者サポート体制充実加算
- ・ 入院時食事療養（1）
- ・ 認知症専門診断管理料
- ・ 精神科訪問看護
- ・ 精神科デイ・ケア（大規模）
- ・ 精神科デイ・ナイト・ケア
- ・ 精神科応急入院施設管理加算
- ・ 精神科身体合併症管理加算
- ・ 後発医薬品使用体制加算 1
- ・ 診療録管理体制加算 2
- ・ 薬剤管理指導料
- ・ 精神科作業療法
- ・ 精神科ショート・ケア（大規模）
- ・ 臨床研修病院入院診療加算（協力型）

1. 荒尾こころの郷病院の使命

私たちは、組織体として医の倫理に基づき、精神障害者の医療、福祉ならびに保護を行い、社会復帰を促進します。

2. 精神科病院の倫理

私たちは、奉仕の精神をもって、自己の技能と良心を医療に捧げるとともに、人間愛をもって、患者様ならびにそのご家族に接します。

3. 人権尊重と守秘義務

私たちは、とくに患者の基本的な人権を尊重するとともに、守秘義務についても厳重に守ります。

4. 生涯研修

当院に勤務するすべての従事者は、医学的知識向上のため、たゆみなき研修に励みます。

5. 地域医療

荒尾こころの郷病院職員は地域における責務を認識し、その地域の精神医療のみならず、精神保健福祉活動にも積極的に参加します。

6. 病院管理と運営

病院管理運営は、あくまでも医師が責任をもって、医学的良心を堅持し、営利のみを目的とした医療は厳に慎みます。

荒尾こころの郷病院 職員の3つの誓い

- ・ ご利用者に喜んでいただける「こころのケア」を提供し、あらゆる患者様の権利を尊重していくこと
- ・ 患者様のご健康の回復を願い、笑顔で接すること
- ・ 健全なケア提供が継続できるように、病院全体を明るく、健康的に運営していくこと

I

患者さまの権利と責任

患者さまの権利

良質な医療を受ける権利

患者さまは、どなたでも平等に良質な医療を受ける権利があります。

選択の自由の権利

患者さまは、医療機関を自由に選択・変更する権利と、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

自己決定の権利

患者さまは、十分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意思で選択・拒否する権利があります。

説明を受ける権利

患者さまは、病気の内容やその治療・検査などについて、分かりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

情報の開示を求める権利

患者さまは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

プライバシーの保護と秘密を保持される権利

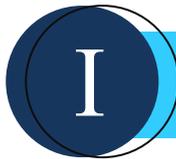
患者さまは、病院内でのプライバシーを守られる権利があり、診療の過程で得られた個人情報や医療上の秘密を厳守される権利があります。

尊厳を得る権利

患者さまは、いかなる時にも人格的に尊厳を得る権利があります。

患者さまの責任

- ・治療を受けられる患者さまとして、正確なご自身の精神的・身体的・社会的な情報を医師に伝えていただく責任があります。
- ・患者さまご自身が医療へ参加していただく責任があります。
- ・他の患者さまの診療に支障を与えない配慮をしていただく責任があります。



I 荒尾こころの郷病院のあゆみ

年	月	おもな出来事
昭和 35	4	法人設立
昭和 43	7	医療法人 洗心会 荒尾保養院開設 鉄筋 3 階建て本館 124 床 診療科目: 精神科・神経科
昭和 48	6	本館増築(増床) 272 床
平成 4	2	5 病棟増築
平成 5	9	入院時食事療養(I)開始
平成 6		訪問看護開始
平成 7	8	精神科作業療法開始
平成 10	1	南病棟増築 1 階 老人性痴呆疾患療養病棟 A 南 1 病棟 60 床 2 階 精神療養病棟 A 南 2 病棟 56 床を開設 30 周年誌「ふれあい」発行
平成 12	3	南 1 病棟申請 60 床のうち 36 床の部分について介護療養型医療施設として指定
	4	薬剤管理指導料開始
	8	精神科デイ・ケア(大規模)開始
平成 13	4	精神科救急医療施設指定
平成 16	5	褥瘡患者管理加算開始
	7	医療保護入院等診療料開始
平成 17	9	南 1 病棟 介護療養型医療施設(36 床)指定辞退 老人性認知症疾患療養病棟 1 へ変更 (病床数変更 24 床→60 床)
平成 18	4	栄養管理実施加算開始 精神科ショート・ケア(大規模)開始 精神一般病棟 4 棟 216 床 (南 1 病棟 60 床 2 病棟 57 床 3 病棟 45 床 5 病棟 54 床)
	8	応急入院指定病院として指定
	12	特定病院及び特定医師の認定

年	月	おもな出来事
平成 19	7	【荒尾こころの郷病院】に改称 診療科目: 精神科・神経科・内科・心療内科
	8	管理棟・西病棟・給食室増築
	9	老人性認知症疾患治療病棟 1 102 床 (西 1 病棟 52 床 西 2 病棟 50 床) 精神一般病棟 2 棟 114 床 (南 1 病棟 60 床 5 病棟 54 床) 歯科開設 診療科目追加
平成 20	10	精神科デイ・ケア、精神科作業療法室改築
	4	医療安全対策加算 I 開始 精神科身体合併症管理加算開始 精神科デイ・ナイト・ケア開始(週 1 日)
	6	精神科デイ・ナイト・ケア週 3 日へ変更
平成 21	6	精神科デイ・ナイト・ケア週 3 日へ変更
平成 22	4	救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算開始 後発医療品使用体制加算開始
	4	熊本県地域拠点型認知症疾患医療センター認定
平成 23	5	認知症専門診断管理料開始 グループホームわたぼうし開設
	6	認知症治療病棟 退院調整加算開始
	8	(財) 日本医療機能評価機構認定 Ver.6
	4	救急搬送患者地域連携受入加算開始
平成 24	6	患者サポート体制充実加算開始
	8	認知症初期集中支援チーム設置促進事業を荒尾市から受託
平成 25	8	認知症初期集中支援チーム設置促進事業を荒尾市から受託
平成 29	10	(財) 日本医療機能評価機構認定 3rdG
平成 30	4	王丸道夫院長 瑞宝小綬章受賞
	9	診療録管理体制加算 2 開始
	12	50 周年誌発行
令和 2	9	認知症夜間対応加算開始

I

院内委員会一覧

委員会名	委員長	会議日時
医療安全管理委員会	王丸	毎月第3月曜(ラウンド) 13:30~
C V P P P		毎月第4火曜(会議) 13:30~
院内感染委員会	松山	毎月第3木曜 15:00~
N 褥瘡対策委員会	宮尾昌	毎月第4水曜 14:00~
S 摂食機能委員会		奇数月第3水曜 13:30~
T 栄養管理委員会		6・9・12・3月第4水曜 13:30~
診療情報管理委員会	王丸	毎月第4火曜 医安終了後
I T 情報管理委員会	王丸	5・9・1月第1木曜 16:00~
個人情報保護委員会		
行動制限最小化委員会	重本	毎月第2木曜 15:30~
薬事委員会	清水	毎月第4火曜 医安終了後
教育委員会	王丸	毎月第1火曜 15:00~
レクリエーション委員会	前田	毎月第2月曜 15:00~
接遇委員会(セクハラ委員会)	前原	毎月第2木曜 16:00~
防火防災委員会	廣瀬	4・9・1月第1月曜 13:30~
医療ガス安全管理委員会		随時
退院推進委員会	垣内	毎月第3火曜 15:30~
広報委員会	大淵	毎月第4火曜 16:00~
労働安全衛生委員会	廣瀬	毎月第1火曜 13:30~
職場のメンタルヘルス事業	王丸	随時
倫理委員会	王丸	随時
患者サポート体制充実対策委員会	王丸	随時
認知症対策委員会	王丸	毎月第3火曜 13:30~
寝具管理委員会	田代	毎月第4水曜 15:00~
看護基準手順会議	鹿川	毎月第1木曜 13:30~
グループホーム委員会	王丸	毎月第4木曜 16:00~
電子カルテ準備委員会	森藤	随時

I

院内会議一覧

会議名	目的	担当	会議日時
三役会	病院内で生じた課題に対し検討を行い、病院全体の運営上の意思決定機関とする	王丸	随時 13:00～
管理運営会議	理事会・院長会の報告 現在・将来に向けての問題点や検討事項 返戻報告・検討	王丸	4・7・10・1月 第2火曜 13:30～
医局会議	チーム医療の充実／各部門より検討・報告	王丸	随時 13:00～
事務連絡会議 購買委員会	諸問題の検討・解決	廣瀬	毎月第1水曜 11:00～
看護職員の業務分担 推進会議	看護職員の負担軽減及び処遇改善を図る	古林	4月 管理運営会議終了後
師長・主任合同会議	役職としての個々の役割を理解し、職務を果たす 医療情勢の進歩をいち早くキャッチし自己研鑽する	古林	毎月第4金曜 13:00～
師長会議	看護運営全般について検討	荒木	毎月第2金曜 15:30～
主任会議	看護業務改善・コスト管理 マニュアル作成・検討	野崎	毎月第3金曜 13:30～
ケア会議	ケアに関する検討・ケアマニュアル作成	田畑	毎月第3水曜 16:00～
家族会会議	患者家族と協力して看護の充実を図り、お互いの親睦を図る	坂口	随時
互助会会議	融和共済を図り、相互福祉の精神により、よりよき職域の建設に努める	石本	随時
認知症初期集中チーム 員会議	支援者の方針検討	松浦	毎月第3火曜 14:00～



フォトコンテスト入賞作品
「 入口 」 小松 三郎

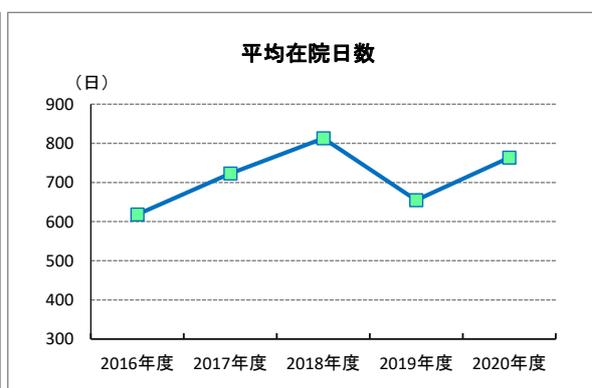
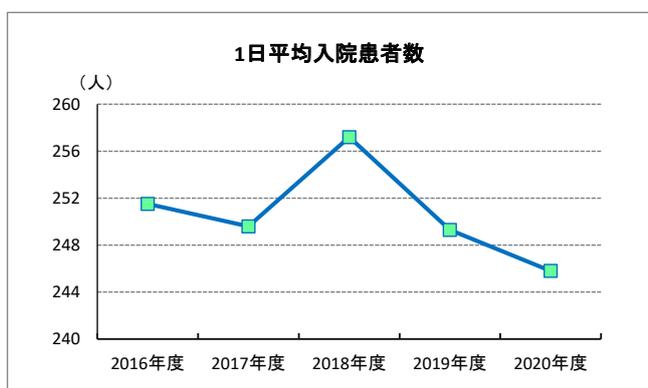
II. 統計

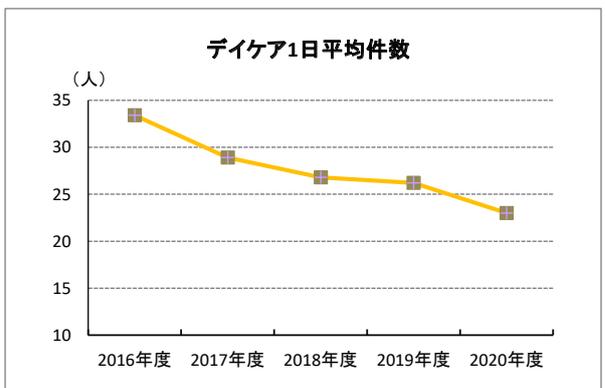
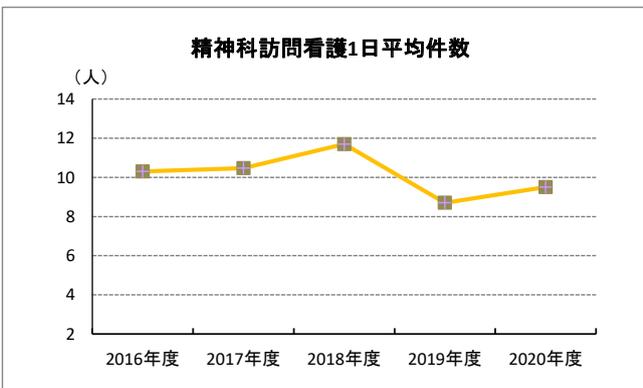
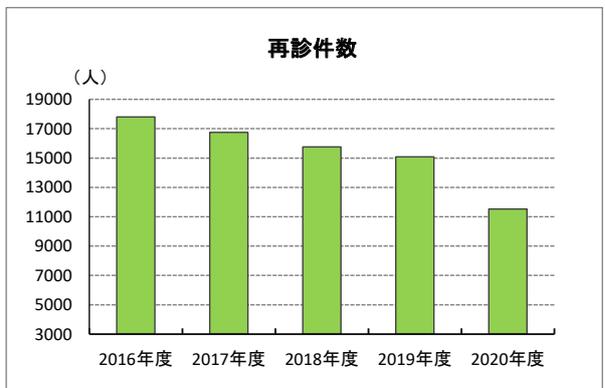
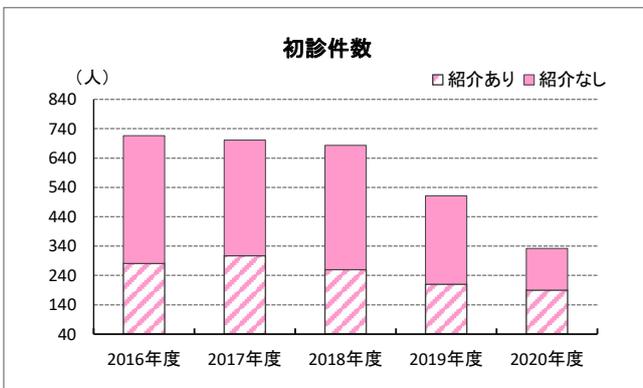
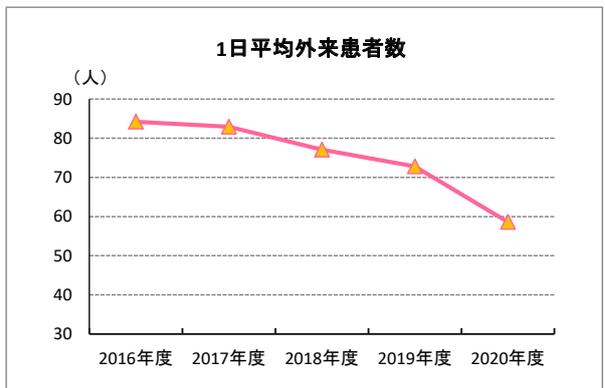
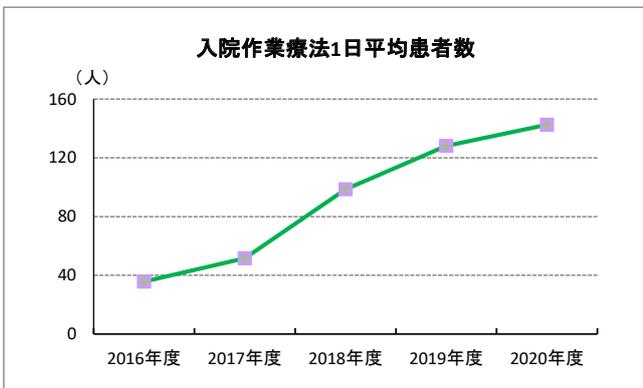
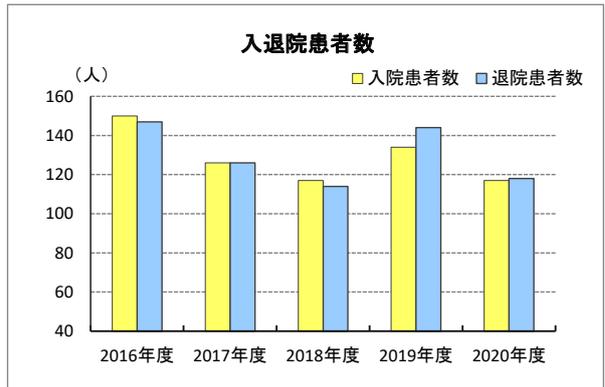
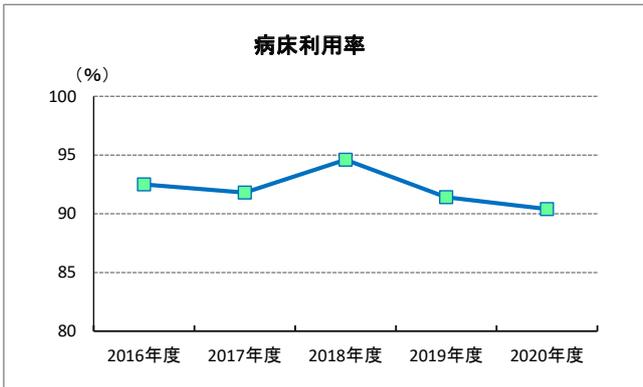
II

患者状況および診療件数

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
入院患者情報	1日平均入院患者数	251.5	249.6	257.2	249.3	245.8
	平均在院日数	618.4	723.0	812.8	654.9	763.7
	病床利用率(%)	92.5	91.8	94.6	91.4	90.4
	入院患者数	150	126	117	134	117
	退院患者数	147	126	114	144	118
	入院作業療法1日平均件数	35.7	51.6	98.6	128.1	142.5
外来患者情報	1日平均外来患者数	84.2	82.9	77.1	72.8	58.6
	初診件数	716	701	683	511	332
	(うち紹介数)	281	307	260	210	190
	再診件数	17,797	16,748	15,755	15,077	11,523
	精神科訪問看護1日平均件数 (認知症訪問看護含む)	10.3	10.5	11.7	8.7	9.5
	デイケア1日平均件数 (ナイトケア・ショートケア含む)	33.4	28.9	26.8	26.2	23.0

※認知症訪問看護H30年度3月～開始







フォトコンテスト入賞作品
「 いい日旅立ち 」 秘密

Ⅲ. 研 修

医局 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
第79回日本医学放射線学会総会	5月15～6月14日	WEB	宮尾
第121回日本小児精神神経学会	10月9～10日	WEB	金丸

看護部 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
TeamSTEPPS研修会(熊本県看護協会)	8月29～30日	熊本	鹿川
認知症看護(熊本県看護協会)	9月21日	熊本	川口
認知症高齢者の看護実践に必要な知識(熊本県看護協会)	9月19日	熊本	吉丸
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	10月28日	熊本	石本
新任看護管理者研修会(熊本県看護協会)	10月31日	熊本	石本
感染管理(熊本県看護協会)	10月29日	自院	古林
看護管理者の概念化能力(熊本県看護協会)	11月5日	熊本	石本
通信教育前期スクーリングSENIORコース(日精協)	11月16～18日	福岡	本山

医療相談室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
第35回日本老年精神医学会	6月13～14日	Web	宗(誌上发表)
第58回日本医療・病院管理学会 学術総会(シンポジスト)	10月2～4日	Web	宗(口頭発表)
第28回日本精神科救急学会 学術総会	10月9～10日	Web	宗(誌上发表)
熊本県サービス管理責任者研修(グループファシリテーター)	10月29～30日	玉名	松隈
2020年度認知症初期集中支援チーム員伝達研修会	11月16日	熊本	嶋田
新型コロナウイルス感染症クラスター発生施設における支援活動報告会	3月18日	熊本	江口

臨床検査室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
令和2年度 臨床検査講習会-心エコー検査のトピクスと標準化(WEB研修)	12月6日	熊本	田中
令和2年度 熊本県臨床検査精度管理研修会(WEB研修)	2月7日	熊本	田中

事務部 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
医療従事者向けセミナー(クレーム対応)	10月14日	久留米	河野

臨床心理室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
医療従事者向けセミナー(クレーム対応)	10月14日	久留米	宮野
令和2年度認知症初期集中支援チーム員伝達研修	11月16日	熊大	山口
荒尾市虐待防止等対策地域協議会	11月20日	荒尾	猿渡
熊本県認知症疾患医療センター事例検討会	1月29日	荒尾	山口
第35回荒尾市在宅医療連携室事例検討会	2月17日	荒尾	山口
荒尾・有明神経精神カンファレンス特別講演会	3月3日	荒尾	山口, 宮野, 猿渡
新型コロナウイルス感染症クラスター発生施設における支援活動報告会	3月18日	熊本	大城

院内研究発表実績

研修会	開催日	演題	発表者
外部研修 報告会	12月14日 ～20日	【九州精神医療学会】 「認知症高齢者の異食・自傷行為に対する対応支援の検討」	西1病棟 竹林 真澄
		【九州精神医療学会】 「認知症高齢者に対する喫茶会の効果」	西2病棟 城戸 美里
		【九州精神医療学会】 「長期入院患者に対する生活行動拡大への効果」	5病棟 山本 秀光
第35回 院内看護、 コ・メディカル 研究発表会 (大会議室)	2月25日 (3月8日～ 4月18日)	対象者喪失により役割が変化した精神科訪問看護利用者への経済的自立支援に関する一考察	精神訪問看護 糸永 貴子
		院内キャッシュレスへの取り組み ～システム導入～	事務 藤本 由果
		認知症患者に対応するスタッフの怒りの変化 ～アンガーログ開始の前後比較～	西1病棟 大木場敦士
		認知症治療病棟における夜勤体制の変化による看護師への影響～夜勤体制の変化による医療安全の前後比較～	西2病棟 松井 優子
		高齢者の皮膚水分量に着目した乾燥状態の改善 ～保湿剤使用による前後比較～	5病棟 下田 聡子
		看護師の認知への働きかけによる患者の確認行為への効果 ～リカバリーの前後比較～	南1病棟 高村 佳子
		短期評価の実施による職員の転倒に対する意識と転倒率の変化	南2病棟 太田 樹
		精神療養病棟における退院支援に向けた意識調査 ～アンケートを踏まえ、対象者のニーズを取り入れた効果的支援を考える～	作業療法室 前田 雄大

院内研修実績

研修会名	開催日	対象者
院内看護、コ・メディカル 研究発表会	2月25日 (3月8～4月18日)	全職員
新人職員研修	7月14日 11月9～16日 11月26日	新入職員
行動制限最小化委員会	9月21～26日 3月22～29日	全職員
院内感染対策委員会	8月24～30日 2月8～19日	全職員
医療安全管理委員会	6月22～26日 2月22～28日 3月1～7日	全職員
個人情報保護委員会	7月29～8月7日	全職員
接遇委員会	9月14～30日	全職員
防火防災委員会	3月15～21日	全職員
一般救急研修	7月13～19日	全職員
悪性症候群研修	6月8～14日	
認知症研修	9月16～29日	
精神保健福祉法研修	8月24～30日	
統合失調症研修(退院推進委員会研修と合同)	11月16～22日	
外部研修報告会	12月14～20日	

看護部門院内研修実績

研修コース名	開催日	対象者	内容
指導者研修	7月20日	師長・主任 指導者・教育委員	プリセプターマニュアル改訂
看護補助者研修	8月24～9月10日	介護職	①医療制度概要と病院機能と組織の理解 ②医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助者業務の理解 ③守秘義務・個人情報の理解 ④看護補助業務における医療安全 ⑤看護補助業務における感染防止
	9月23～28日		
	11月24～30日		
	1月25～29日		
	3月22～26日		
介護技術研修	11月23～30日	介護職	オムツの当て方、オムツパットの説明
	1月10～17日		死後の処置
集合研修	部署にて	介護職	①令和元年度部署目標把握(達成発表会)
		看護職	②令和2年度目標管理シート作成

リハビリテーション科作業療法室 実習受け入れ実績

学校名	実習内容	人数	期間
熊本総合医療リハビリテーション学院	臨床実習	1名	8月 31日 ~ 10月 17日
	評価実習	1名	10月 26日 ~ 11月 14日
		1名	11月 24日 ~ 12月 12日
	計	3名	



フォトコンテスト作品
「 春うらら 」



フォトコンテスト作品
「 花手水 」

IV. 部署紹介

IV

部署紹介

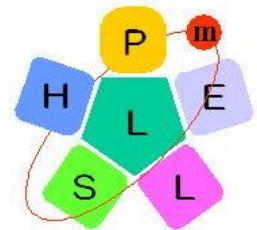
当院には様々な部署があり、患者様やご家族をトータル的にサポートするシステム作りに取り組んでいます。

医療安全管理室

専従の医療安全管理者を配置し、医療の質を管理することにより、療養中の患者様の安全確保に努めております。

このほかにも、医薬品の安全管理（副作用情報の収集）や、院内感染対策と感染症の流行情報の把握、医療機器の保守管理と安全使用についての情報収集を行っています。また、院内で発生したヒヤットとした事例を収集しており、その数は年間 1,500~2,000 件程あり、その分析により重大事故に対する予防措置を講じています。

具体策の一例としては、転倒・転落のリスクが高い方に衝撃吸収マットや離床センサーを活用し、転倒・転落による骨折事故発生の軽減に努力しております。このほかにも患者様が安心して療養に専念できる環境について、定期的に担当者が院内を巡回し、院内での重大事故及び感染発症ゼロをめざして取り組んでいます。私たちこころの郷病院職員は、これからも安心・安全な医療の提供に努力して参ります。ご不信な点がございましたら、いつでもご遠慮なくお声をかけてください。



薬局

薬局では、薬剤師・薬局助手 計 6 名で外来・入院患者様のお薬の調剤、服薬指導や外来患者様へのお薬の情報提供、患者様が持参されたお薬の鑑別および医薬品情報の収集などを行っています。

患者様に、より早く正確に、お薬と情報を提供できるように日々心がけています。お薬の事で、わからない事や飲みにくい事など、何かございましたら気軽にご相談ください。



なお、お薬手帳をお持ちの患者様は、
受付時でのご提出をお願い致します。



外来

荒尾こころの郷病院は、熊本県の地域拠点型認知症疾患医療センターに認定され10年が経過しました。

認知症疾患に関する鑑別診断や専門医療相談を行い、有明地域における高齢者の認知症疾患対策の一役を担ってまいりました。今後も更に地域のかかりつけの先生方や施設事業者の方々と、連携を図り役割を果たしていきたいと思っております。

外来では認知症だけでなく、うつ病や神経症などのストレス性障害をはじめ、睡眠障害やさまざまなこころの病に対し、様々な検査やカウンセリングを行いトータル的な医療の提供やご相談を承っております。

これからも、地域の方々に信頼される医療のご提供を心がけていきたいと思っております。

新規の受診に際しましては、予約制となっております。

予めお電話でお問い合わせいただければ幸いです。

現在、新型コロナウイルス感染対策で社会は大変な状況下にあります。当院でも十分な感染対策を行っておりますのでご協力をお願いいたします。



南 1 病棟

南 1 病棟は急性期・慢性期の患者様に対応する部屋別の男女混合病棟です。症状の再燃や病的体験など通常でははかり知れない患者様の訴えに、スタッフがチームもしくは受け持ち看護師が日々関りをもって取り組んでいます。病的症状だけでなく患者年齢の高齢化に伴い介護力も必要となってきています。

コロナ禍ではありますが、症状の安定された患者様や長期的に治療・療養の必要な患者様に、社会復帰を目指した支援が行えるよう、退院支援活動を積極的におこなっていきます。

病棟レクリエーション活動は病棟専属のOTスタッフが加わり、充実した内容になっています。患者様の心身のリフレッシュと、患者様・スタッフのコミュニケーションを通して、社会性・自主性の向上につながるよう患者様とともに企画運営を行っています。



南 2 病棟

南 2 病棟は精神療養病棟で男女混合の開放病棟です。

当病棟の患者様は、症状の安定された患者様や退院を目標とされる方、長期的に治療・療養の必要な方へ、OT（作業療法）・日常生活指導を行い、個人の能力に応じた日常生活の支援や様々な活動を提供しています。また、季節に応じた病棟レクや、活動の充実を図るため新たな活動の計画、コロナ禍で外出できない今、少しでも地域のことを知ってもらい、楽しみとなるよう荒尾市内のお弁当を頼み、食事会の開催など地域にも目を向けた支援を可能な限り取り入れています。

今後も社会生活能力維持・向上、また日々運動を行うことで健康に過ごせるようになるなど、その方に合った目的を患者様と一緒に見つけ、達成できるように他職種連携を図りながら取り組んでいきたいと思ひます。



秋の運動会



忘年会&紅白歌合戦



スイカ割り

5 病棟

5 病棟は平成 4 年に建築され、当院の中で最も古い建物で、精神一般病棟（閉鎖病棟）です。1 階が身体合併症治療病棟、2 階が男性の精神一般・PICU（保護室）を持つ、構造上において機能分化された病棟です。

急性期の患者様や慢性期の患者様、身体合併症の患者様が入院されていますので、患者様の治療方針を考慮しながら患者様のご意向を大切に、個々に応じた療養環境の提供、看護、介護を行っております。また、患者様が 1 日も早くその人らしいライフステージが送れるように、病院理念を大切に、他職種・他部署と連携を図りながら、ケアの提供を行っています。



西 1 病棟

西 1 病棟は認知症治療病棟です。認知症の方は脳の機能障害により、さまざまな周辺症状から生活上の問題が生じてきて、認知症の方をはじめそのご家族も不安を抱えておられます。

私たち職員は、患者・ご家族様の不安が少しでも軽減できるようにチーム医療を発揮し、生活機能訓練・身体機能訓練、季節の行事や院内散歩、創作活動を通じて元気な体を作り、季節の移り変わりを感じる機会を持てるように心がけています。これからも病棟スタッフが他の職種と連携し、その方一人一人の人生が豊かに、そして素晴らしいものとなるよう、ふれあいを大事にしていきたいと思えます。

昨年に続きコロナウイルスの影響により、面会制限の期間が長くなっており、患者・ご家族様にとって、寂しく、不安な日々を送られていることと思います。「私たちにできることは何か」を考えて、日々感染防止対策に取り組みながら、安心・安全な療養環境を提供できるよう努めてまいります。



西 2 病棟

西 2 病棟は認知症治療病棟です。認知症による周辺症状（夜間せん妄・不眠・幻覚・妄想・徘徊・抑うつ・異食など）で日常生活が困難になっている患者様に対し、専門的なケアを行い周辺症状の早期改善に努めています。生活機能回復訓練と並行して、精神科作業療法も実施しています。

また、1年を通して季節を感じられる行事活動、コミュニケーション能力の維持、回復にも努めています。しかし、昨年に引き続きコロナウイルスの影響で活動自粛となり、感染の予防対策としてマスク着用、換気、手洗い、消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの確保を行いコロナウイルス感染予防に努めています。安全を意識し、患者様が笑顔で安心して入院生活が送れるよう、患者様の立場に立ったやさしく思いやりのある看護・介護を提供していきます。



敬老会（二人羽織り）



スイカレク



夏レク（盆踊り）

臨床心理室

臨床心理室では、心理検査やカウンセリングを通して、「こころ」のお悩みを抱えた方やご家族の皆様の問題解決のお手伝いを行っています。お子様からご年配の方まで、様々な方のお悩みに寄り添って、一緒によりよい道を探していけたら幸いです。

最近になって、心理の国家資格が誕生しました。私たちの呼び方は公認心理師となりましたが、部署名は臨床心理室のままなのでちょっとややこしいことになっています。仕事も今までどおりで女性3名、男性1名の個性豊かな面々がそれぞれの持ち味を生かして頑張っています。

和気あいあいとした部署なので、ピンクとブルーの白衣を目印に、どうぞお気軽にお声かけください。

スタッフ一同お待ちしております。



検査室

検査室はX線室と臨床検査室があります。X線室では放射線技師がX線撮影や超音波検査を、臨床検査室では臨床検査技師が血液・尿・便・心電図・脳波などの検査をそれぞれ対応しています。

病気の予防や早期発見、治療効果の判定のお手伝いができるよう、機器の精度を保ち、迅速で正しい検査情報の提供を心がけています。

検査の事で分からないことがありましたら、遠慮なくお声かけください。



認知症訪問看護

主に高齢の方の訪問を、看護師 1 名と作業療法士 1 名で行っています。

コロナ、猛暑と過酷な環境の中での訪問ですが、それでも受け入れてくださっている利用者や家族に日々感謝しています。訪問時に発せられる言葉や笑顔が職員の癒しです。

そして訪問途中に遭遇する風景や列車、飛行機なども楽しみの一つです。写真は、荒尾駅駐車場で遭遇した無限列車です。



精神科訪問看護

訪問看護は、精神と認知の 2 つに分かれ、訪問看護をさせていただいています。精神科訪問看護は、地域で生活されている患者様・ご家族の了解を得て、医師の指示の下、看護師・准看護師・作業療法士または精神保健福祉士の 2 名体制で訪問しています。

訪問をしている状況で、いつも訪問を快く受け入れて下さる、患者様・ご家族に感謝の気持ちで一杯です！少しでも皆様方から“訪問に来てもらってよかった”と思っただけでも、支援させていただきますので今後ともよろしくお願いいたします。訪問についてご質問・ご相談がありましたら遠慮なくお声かけください。



医療相談室・地域連携医療相談室

いつも病院内外でたくさんの人たちに支えていただき、みなさまとの出会いに心から感謝しております。

私たち精神保健福祉士は、荒尾こころの郷病院にかかわる方々が安心して暮らすことができるよう、いろいろなお話を聞かせていただいています。受診・入院相談から退院後の生活、各種福祉制度の紹介、経済的な問題などご相談ください。そして、患者様・ご家族が安心して精神科医療を受けることができるように、医療機関、福祉施設、行政機関との連携を行なっています。

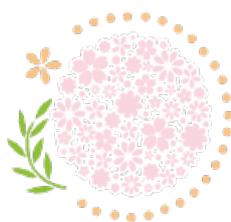
話しをするのが大好きなメンバーばかりです。お声かけくだされば幸いです。



認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターでは電話や来院による、ご本人・ご家族・関係機関からの相談への対応や、認知症疾患に関する鑑別診断、行動心理症状などに対する急性期治療の実施、地域の保健医療・介護関係者への研修などを行っています。

「最近物忘れが多くなった」「何か様子がおかしいかも…」など少しでもご心配な場合は、いつでもお気軽にご相談ください。



栄養科

1日におよそ750食（デイケア食含む）のお食事を提供しています。月に1回、季節に応じた行事食を取り入れ、患者様の嗜好やアレルギーなどにも配慮した給食の提供を行っています。患者様おひとりおひとりの病状に合わせて、美味しく安心安全の食事が提供できるよう努めています。

また、管理栄養士における栄養食事指導・栄養相談も実施しております。食事・栄養についてご質問がありましたら、お気軽にご相談ください。



精神科作業療法室

精神科作業療法とは：種々の精神疾患により生活に障害を持った方々に対し、個別あるいは他の人との関わりや、具体的・現実的な作業活動（遊び・創作的なものから日常生活に関するものまで）を利用し、精神機能の向上、対人関係の改善、作業能力の改善などを図り、その人にとってより良い生活が送れるように、指導・援助を行います。

集団について：精神科作業療法では主に集団によるリハビリテーションを行います。その治療的因子を以下に少しだけご説明致します。

1. 希望をもたらす

「何だかホッとする」「もう一度やれそう」と思えること

2. 普遍的体験

「自分ひとりじゃなかった」「大きな安心」という体験

3. 受容される体験

自分の存在そのままだけを受け入れられ、癒されて、自分を受け入れられる。そこから新たな生活へと歩き始められる。

4. 愛他的体験

自分が他人の役に立つ喜びが、自分自身を大切にしたい気持ちへつながる。

5. 情報の伝達

「そういう方法もあるのか」人が集まれば、多くの助言や情報が得られる。

6. 現実検討

「ああそうか」人は他者を物差しに自分を確かめる。自分に対する気づきは、他者の反応が鏡。

などがあります。このような集団の治療的因子を用いて、対象者の皆様へよりよいリハビリテーションを提供することが、私たち、作業療法士の大きな目的の一つです。



精神科デイケア

デイケアでは地域社会で生活されている方を対象に、さまざまな活動を通してふれあいの場を提供するとともに、安定し充実した在宅での生活が送れるように支援しています。また、就労を希望される方への支援も行っていきたいですが、コロナ禍の中、できていないのが現状です。

◎精神科デイケアの目的

- ・規則正しい生活リズムを身につける
- ・人との付き合い方を学び、仲間を作る
- ・社会的自立の準備を行う

活動内容はメンバーさんとスタッフの間で話し合い、「メンバーの声」を反映したプログラムにすることで、20代から80代まで幅広い年齢層の方に参加していただいております。これからも、プログラムの充実を図り、できるだけ多くの方に参加していただけるようにここがけていきたいと思っています。

新しく、モルックというスポーツを始めました。



モルック



モルック大会



ハッピーガーデン

事務部

私たち事務部は、医事課と総務課に分かれて合計12名で日々の業務に励んでおります。

医事課は、保険請求が主な仕事ですが、その他窓口での受付、会計、電話対応。更に入院に関しては入院手続きから預り金（お小遣い）管理を行っております。

総務課は、物品管理、設備関係管理、職員の人事管理や勤怠表作成、経理財務管理、医療統計書類作成等を行っております。

また、私たち事務職員は今年度接遇目標である「マスクからあふれる笑顔を広げよう」を基に、病院の顔として、相手の立場を思いやった接遇を心掛けていきたいと思っています。



V. 活動報告



熊本県地域拠点型 認知症疾患医療センター

平成 23 年 4 月に熊本県の指定を受け、開設されました。

認知症の方やご家族のみなさんが住み慣れた地域で、安心して生活を送ることが出来るように行政や地域の医療機関、介護事業所等と連携を取りながら、ひとつひとつのケースに対応させて頂いています。

「最近、ちょっと様子が変わったな?」「もしかして認知症かな?」と少しでもご心配の方がおられましたら、お気軽に当センターへお電話ください。

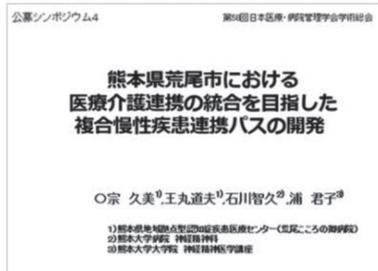
熊本県地域拠点型
認知症疾患医療センター（荒尾こころの郷病院）

直通 ☎0968-62-0838

※認知症専門外来は、完全予約制になりますので
まずはお電話ください。担当の精神保健福祉士
が対応させて頂きます。

令和 2 年度 活動内容

- ・地域拠点型認知症疾患医療センター 事例検討会 年2回 開催
- ・日本老年精神医学会 誌上発表
- ・日本医療・病院管理学会 シンポジスト
- ・日本精神科救急学会 誌上発表
- ・日本医療研究開発機構
「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」研究協力
- ・第 20 回荒尾・有明神経精神カンファレンス
- ・地域ケア会議等への参加
- ・日本認知症ケア学会誌 実践・事例報告



令和 3 年度もコロナ禍ではありますが、地域に対する認知症の普及啓発のため、Web研修も活用しながら、各種研修会・事例検討会等を予定しております。沢山の方々のご参加を心よりお待ちしております。



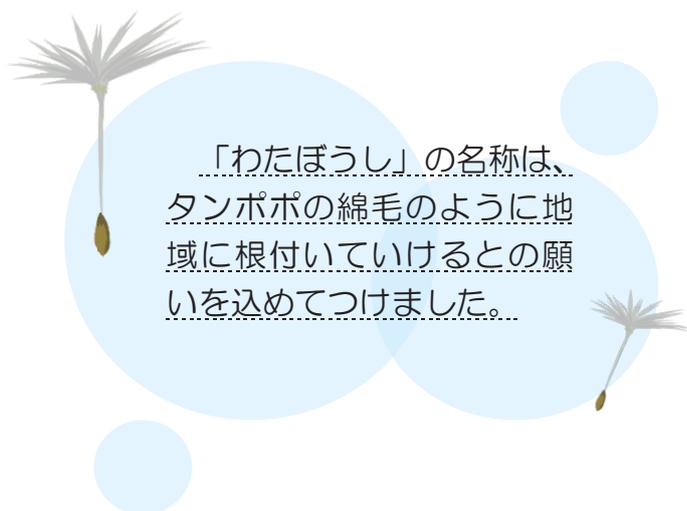
グループホーム「わたぼうし」

「わたぼうし」は、障害をかかえ地域生活に不安がある方や地域での自立した生活を目指している方などを支援する施設として、平成 23 年 6 月に開設しました。

落ち着いた明るい雰囲気でも共同生活を送ることができるように、暖かい家庭をイメージした作りになっています。

現在 A 型就労にて頑張っておられる方、B 型就労に向け取り組んでおられる方などいらっしやいます。

これからもよろしくをお願いします。



「わたぼうし」の名称は、タンポポの綿毛のように地域に根付いていけるとの願いを込めてつけました。



施設の概要

種 類	精神障がい者 共同生活援助事業所
定 員	5 名（女性専用）
居 室	全室個室（洋室）エアコン完備

設置主体	医療法人 洗心会
協力医療機関	「荒尾こころの郷病院」
名 称	グループホーム『わたぼうし』
所在地	〒864-0051 熊本県荒尾市大島字松原 52 番地 2 TEL 0968-62-2588





ACS（アルコール教室）



同じ問題を抱えるメンバーとの交流を通して、アルコール依存症についての学習を深めながら、自らのアルコール問題を語り合い、自分を見つめなおす場です。

教室の名前は Alcohol cram school（アルコール塾）の略称で、メンバーさんからのアイデアです。



どんなことをしているの？

- 脳トレ（パズル、ゲームなど）
アルコールの多量摂取は脳の萎縮や機能低下を起こしますので脳の活性化を目指しています
- おたがいの近況報告や思いを語る
皆さんに順番が回ってきますが、発言は強制ではないので、パスもできます
- アルコール依存症やアルコールの害についての学習 など

スタッフからのメッセージ

決して堅く厳しい会ではなく、和気あいあいと過ごしています
希望者には、外部の自助グループ（断酒会やAA）をご紹介することもできますので、興味のある方は、主治医やスタッフにお尋ねください





家族会会議

家族会会議では、荒尾こころの郷病院へ入院・外来通院されている方のご家族を対象に運営している病院家族会「青空会」の活動への協力や同会の行事などへの参加案内などを行なっています。

◎令和2年度 青空会 活動報告



月	行 事	
5月	荒尾・長洲地域家族会総会・講演会及び交流会	(中止)
8月	有明地域（玉名・荒尾・長洲）家族会交流会	(中止)
10月	第50回 熊本県 精神障害者福祉会連合会家族会大会	(中止)
	荒尾こころの郷病院「秋祭り」《あおぞらバザー》	(中止)
11月	有明地域こころのネットワーク推進事業 ハートフルコンサート	(中止)
12月	熊本県精神障害者福祉会連合会1泊研修会	(中止)
3月	家族会公演会・懇談会	(中止)

※令和2年度の活動は、新型コロナウイルス感染拡大を受け全て中止となりました。



栄養科 令和2年度行事食

月	日	行事食
4月	6日	お花見弁当
5月	29日	春の彩りランチ
6月	23日	紫陽花御膳
7月	21日	うまかばい御膳
8月	19日	ひまわりランチ
9月	18日	敬老お祝い御前
	23日	お彼岸（おはぎ）
10月	21日	秋の彩り御膳
11月	27日	きのこご飯御膳
12月	25日	クリスマスランチ
令和3年1月	1日	おせち料理
2月	2日	節分行事食
3月	3日	ひなまつり御膳

うまかばい御膳



ひまわりランチ



クリスマスランチ



節分行事食





レクリエーション紹介

当院では、年間を通して様々な行事を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、予定していた院内レクリエーションはすべて中止となりました。このような状況下でも、患者さまのために少しでも楽しみの一つとなるようレク委員や作業療法士が中心となって各病棟レクリエーションに力を入れて行なっています。

またあの時の賑わいに戻れたらいいですね。

◎年間レクリエーション紹介（令和2年度）

	院内レクリエーション	病棟レクリエーション
4月	ゲートボール大会(中止)	お花見
5月	合同バス旅行(中止)	端午の節句／宝探し
6月	熊精フェスタ(中止)	茶話会／風船バレー大会
7月		七夕会／そうめん流し／スイカ割り
8月		スイカ割り／かき氷大会／ミニ夏祭り
9月	敬老会(中止)	敬老会
10月	秋祭り(中止)	ミニ運動会
11月	ペタンク大会(中止)	カラオケ大会／お楽しみ会
12月	餅つき大会(中止) クリスマス託児所訪問	クリスマス会／忘年会
1月		新年会
2月	節分(中止)	節分／茶話会
3月		ひな祭り会／茶話会



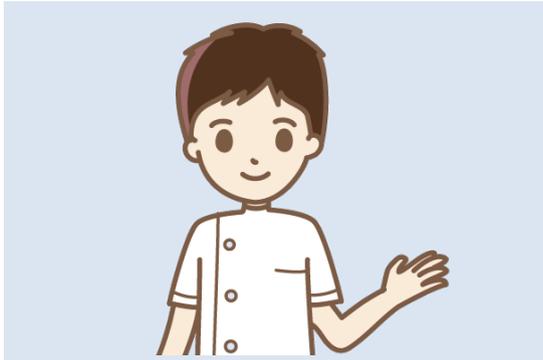


フォトコンテスト作品
「 白馬と薔薇 」



フォトコンテスト作品
「 湿原 」

VI. 新入職員

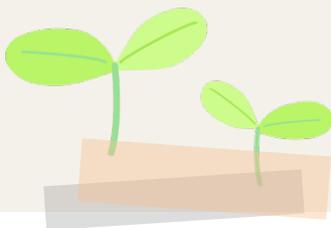


看護師 中山 怜

西2階看護師の中山怜です。4月に入職し現在の病棟に配属され1年が過ぎました。

当初は精神科に勤務するのが初めてだったので慣れないこともあり、毎日が驚きの連続でした。現在も未熟な点が多々ありますが、今までの経験をもとにより認知症への理解を深め、患者様に寄り添った看護ができる事を目標に頑張っていきたいです。

大変なことも多々ありますが、家に帰るともふもふのたれ耳ウサギとデグーが待っていてくれるのでこれからも頑張っていこうと思います。よろしくお願いします。



精神保健福祉士 丸山 桃果

R2年4月より入職致しました精神保健福祉士の丸山桃果です。熊本県菊池市出身で、田んぼと牧場に囲まれながら育ちました。高校時代はダンス部、大学時代はよさこいサークルに入部し（今はもう踊れません…）、大学を卒業後、初めての職場が荒尾こころの郷病院になります。皆さんに支えられ、あっという間に入職2年目になり、現在は南2病棟を担当しています。

私は元々旅館巡りが好きで、「社会人になったら各地域の温泉旅行を全制覇するぞ〜!」と意気込んでいたのですが、入職してすぐコロナ禍になりめっぽう行けず…。趣味が消えかかっているのですが、最近ではYouTubeで旅行関係の動画を見ながら行った気分になっています。あとは好きなアーティストのオンラインライブを観戦したりと、何かと自粛生活を楽しんでいるところです。こんな私ですが、皆さんのお役にたてるよう笑顔でこれからも頑張っていきたいと思います。人見知りなので話しかけてくださるととても嬉しいです！今後とも宜しくお願い致します。

看護師 松藤 和也

R2年8月に入職しました5病棟の看護師の松藤和也です。生まれも育ちも福岡の柳川市ですが、今回縁あってこちらの郷病院へ入職させていただきました。まだまだ不慣れな点も多く皆さんにご迷惑をおかけすると思いますがよろしくをお願いします。

学生時代は野球をしていました。休みの日には草野球をしたりプロ野球を見に行ったりしていましたが、今はコロナの影響で行けておらずテレビで観戦しています。最近はメジャーリーグも観るようになりました。旅行も好きなので一度はアメリカの球場で観戦したいと思っています。また、食べたり飲んだりすることも大好きで、おいしいお店や料理があったら教えてください。特にお肉と甘いものが大好きです。

入職して1年が経とうとしていますが、看護師としても成長していけるように頑張っていきたいと思っています。皆さんよろしくお願いします。



作業療法士 大平 悠一郎

R2年12月より入職させて頂きました作業療法士の大平悠一郎です。私は長崎出身ですので熊本は全くの素人です。作業療法士となって3年が経ち、慣れない土地での再スタートは期待と不安で胸がいっぱいでした。入職してから約半年が経過しましたが、コロナの影響もあり熊本の土地を探索することが出来ず、ようやく少しずつ慣れてきたかなと感じます。専従として認知症病棟で働くのは初めてで分からない事ばかり、周囲の方々に助けをいただきながら働いています！私が作業療法士に興味を持つきっかけともなった認知症分野で、患者さんから協力していただき取り組んでいく活動時間「運動」「創作」「レクリエーション」など笑顔が自然と溢れてくる場面に出会うと作業療法士という仕事を選んで良かったと本当に肌で感じます。

私は趣味の一つであるドライブがなかなか出来ず、釣りや家での唐揚げ研究に没頭する日々です。今年で入職して1年目と未熟者ですが、1日でも早く患者さんに貢献していけるような作業療法士になりたいと思っています。関わる機会の少ない方もいらっしゃると思いますが、これからもよろしくお願い致します。



医療法人 洗心会

荒尾こころの郷病院年報

2020(令和2)年度

2021年 10月刊行

編集・作成	広報委員会
	大淵伸也
	藤田 茜
	廣瀬義和
	木村浩美
	坂本祥子
	下田聡子
	高木麗奈
	高村真穂
	中川益夫
	前田彩美
	松石博典
	松永みよ子

医療法人 洗心会

荒尾こころの郷病院

病院長 王丸 道夫

〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾 1992 番地

TEL 0968-62-0657

FAX 0968-62-2565